

名護市地球温暖化対策実行計画

— 区域施策編 —

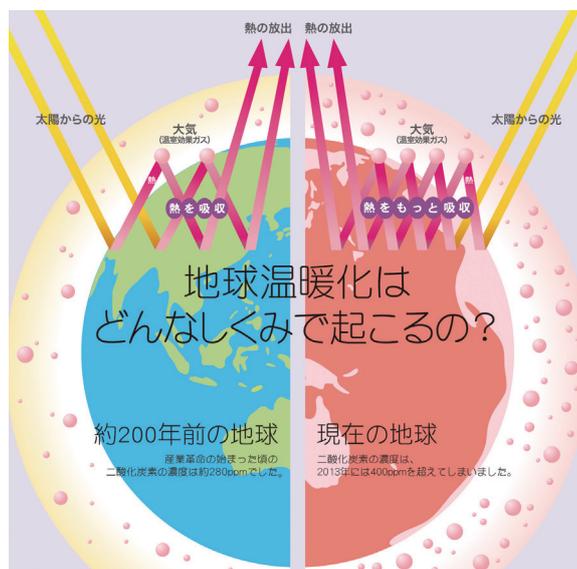
「地球温暖化問題」って何？

●地球温暖化とは

- 地球全体の気温が長期的に上がる傾向にあることを「地球温暖化」といいます。
- 自動車等を動かしたり、電気を作ったりするために、石油や石炭などの化石燃料を燃やし生活するようになった人間の暮らし方の変化が、地球温暖化の主な原因です。

●地球温暖化の仕組みと私たちにできること

- 地球の表面は、太陽の熱で温められ、余分な熱は宇宙へ放出されますが、一部は大気中の温室効果ガス（二酸化炭素など）に吸収されます。温室効果ガスが増えすぎると、熱が地表付近の大気にもってしまい、地球全体の気温が上がってしまいます。
- 私たちは、エネルギーの無駄遣いを減らすために、節電や自動車の利用を減らし短い距離は歩くようにするなど、二酸化炭素を出す量を減らすために行動していく必要があります。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)

●地球温暖化がもたらす日本への影響の例

- 温暖化が進んだ場合、海面上昇による海岸浸食や、台風の強度の増加や経路の異常、生態系の変化、今までいなかった病害虫の侵入が起これといわれています。日本は、特に沿岸域に人口・産業が集中しており、このような地域は温暖化に対する脆弱性が高いといえます。



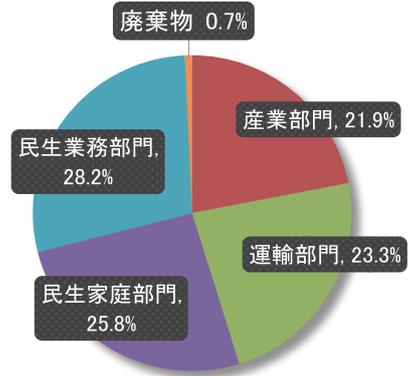
出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)

名護市の現状

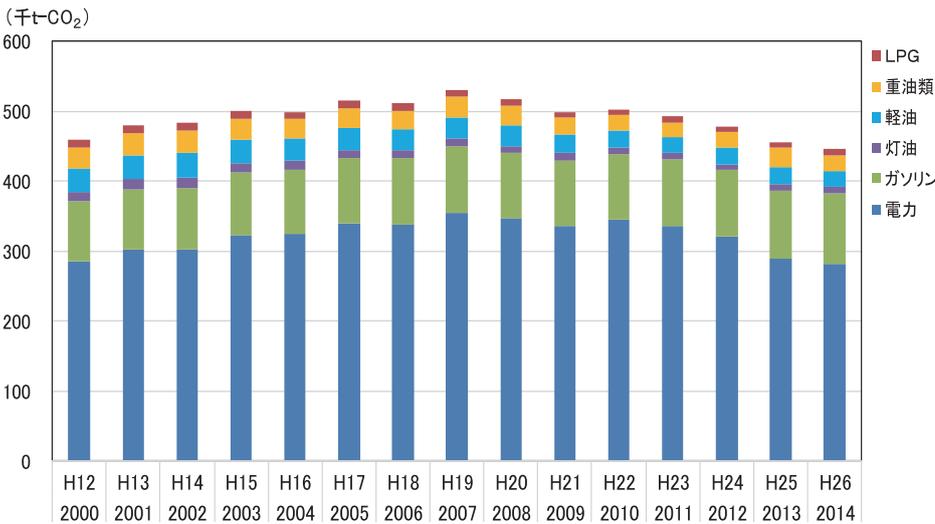
●わたしたちのまちの二酸化炭素は？

名護市の2014(平成26)年度のエネルギー種別二酸化炭素排出量を見ると、電力が6割と最も多くなっており、続いてガソリンが2割を占めています。電力使用による二酸化炭素は、リーマンショックの影響やLNG(液化天然ガス)を燃料とする吉の浦火力発電所の稼働などにより、2007(平成19)年度をピークに減少しています。

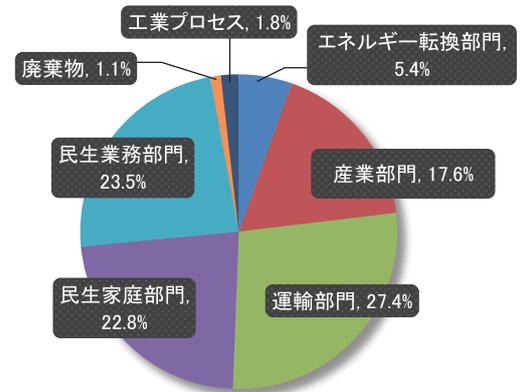
また、部門別では民生部門(家庭・業務)の排出量の割合が高くなっています。



名護市の排出構成 2013(平成25)年度



名護市のエネルギー種別二酸化炭素排出量



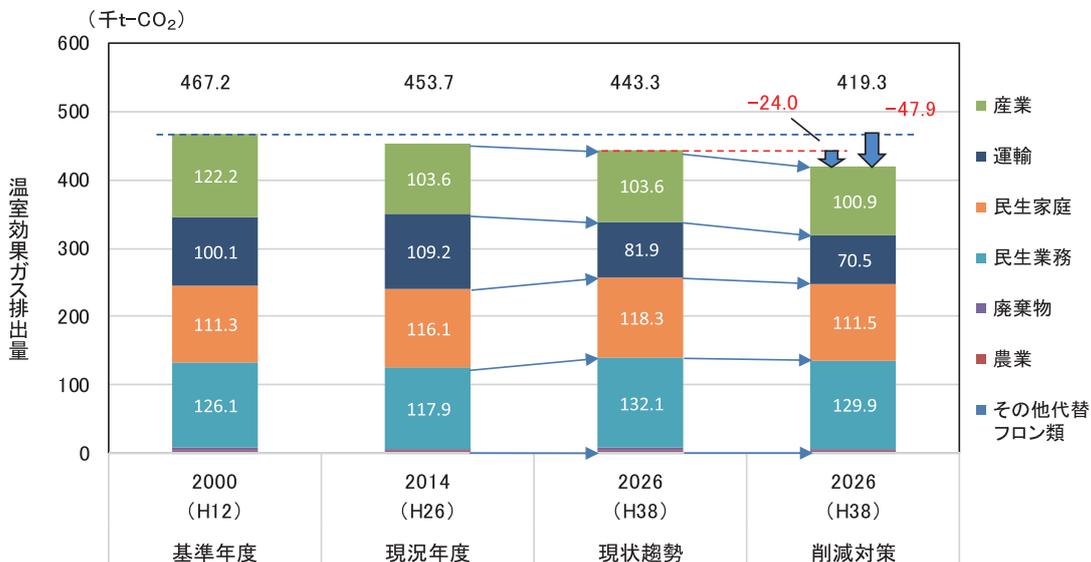
沖縄県の排出構成 2013(平成25)年度

計画の目標

●温室効果ガスの削減目標

名護市では、継続的な地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス削減目標を掲げています。

名護市では将来の温室効果ガスが減少することや、今後の取り組みを考慮し、2000(平成12)年度を基準年度として、短期目標年度の2026(平成38)年度に基準年度比で**10%削減**します。



削減目標：基準年度に対して、温室効果ガス排出量を10%削減！

名護市が目指す将来の姿

低炭素社会は温室効果ガスの発生源を抑制し、吸収源を増やす都市形成を目指すものです。名護市では、地球温暖化を防止する都市像を以下のように設定し、低炭素都市の構築に向け、3つの視点で取り組みます。

自然と都市が調和した環境にやさしいまちづくり

「まちづくり」の視点

徒歩・自転車利用へのシフトを促すことにより、自動車に過度に依存しない都市の実現を通じて、交通移動のエネルギー消費の削減を図ります。

「すまい・しごと」の視点

すまい・しごとにおける省エネ化を進めることで、低炭素で快適な暮らしを実現します。

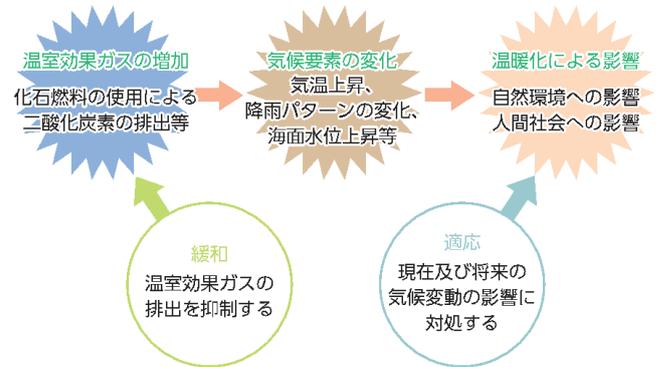
「エネルギー」の視点

多くの公共施設、事業所、一般家庭が自然エネルギー（太陽光、太陽熱、風力など）へ転換し、エネルギーの地産地消を推進します。

削減目標達成のための施策、適応策

地球温暖化対策は大きく分けて2つあり、1つは原因となる温室効果ガスの排出を削減・抑制する「緩和」、もう1つは既に起こりつつある、あるいは起こりうる温暖化の影響に対して自然や社会のあり方を調整する「適応」があります。

気候変動と緩和策・適応策の関係



●目標達成に向けた施策（緩和策）の基本方針

二酸化炭素削減目標の達成に向けて、次の4つの基本方針に基づき地球温暖化対策を進めます。

基本方針1 家庭や職場での省エネ化の促進

基本方針2 再生可能エネルギー等の利用促進

基本方針3 低炭素なまちの整備・改善

基本方針4 循環型社会の形成

●適応策

名護市及び国や県の取り組みを踏まえ、各分野において現時点で考えられる適応策に取り組みます。

分野	現時点で考えられる適応策
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまちづくりの促進 護岸、堤防、防潮堤の整備 総合治水対策の整備 防災ハザードマップの作成 災害リスクに関する情報提供 など
健康	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症、暑熱ストレス対策 都市のヒートアイランド対策 都市の暑熱対策（市街地の緑化の推進など） 動物媒介性感染症（デング熱、マラリア等）対策 など
水環境・水資源	<ul style="list-style-type: none"> 渇水時の水資源対策及び渇水情報の発信 節水意識の啓発 など 雨水・再生水の利用促進
農林水産	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水の確保 病害虫被害の防除対策 など 耕種及び畜産における遮熱対策など農家への高温対策技術の情報提供等
自然生態系	<ul style="list-style-type: none"> 森林、湿地、河川など生物多様性が残されている地域の保全 外来種の防除対策 自然環境の再生（森林、河川、砂浜、干潟、サンゴ等） 生態系モニタリング（重要種・外来種） など

具体的な取り組み

1. 家庭や職場での省エネ化の促進

- ①家庭での省エネルギー行動の推進
- ②家庭でのエネルギー管理の推進
- ③家庭の省エネルギーの設備・機器への転換
- ④省エネルギー・低炭素型住宅の普及
- ⑤事業所での省エネルギー行動の推進
- ⑥事業所のエネルギー管理の推進
- ⑦事業所の省エネルギーの設備・機器への転換



高効率天然ガスボイラー

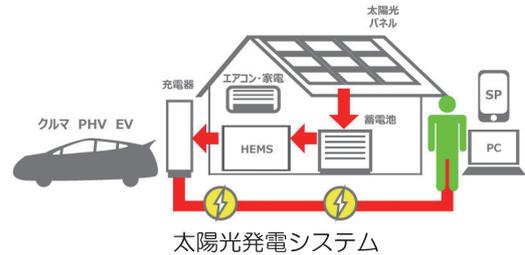
LNGサテライト施設

[上: (株)伊藤園名護工場、下: オリオンビール(株)名護工場]

(株)伊藤園名護工場とオリオンビール(株)名護工場での取り組み例

2. 再生可能エネルギー等の利用促進

- ①太陽光発電・太陽熱利用設備の普及
- ②その他の再生可能エネルギー等の普及



3. 低炭素なまちの整備・改善

- ①自転車の利用促進など環境に配慮した交通手段への転換
- ②低炭素なまちの構築
- ③緑化によるヒートアイランド緩和及び、吸収源となる緑化の推進
- ④災害に強いまちづくりの推進



自転車指導レーンの整備



屋上の庭園整備 (名護市役所)

<例えばこれだけ省エネ・家計の節約が出来ます>



省エネ、家計の節約例

出典：環境省「私たちができることーエコドライブをしよう!」(パネル)

●2,000ccオートマチック乗用車、年間の走行距離10,000km、燃費11.5km/ℓの場合
※ガソリン価格111円/ℓとして計算
●ガソリンの二酸化炭素排出係数2.3kg・CO₂/ℓとして計算

出典：(財)省エネルギーセンター

4. 循環型社会の形成

- ①ごみの減量化及び資源化
- ②廃棄物の適正処理の推進

Refuse [リフューズ] 持ち込まない
Reduce [リデュース] 減量する
Reuse [リユース] 再利用する
Recycle [リサイクル] 再生利用する

= 4R



生ごみの資源化